

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 魚津常義  
 幹事 二村 聡  
 I.T委員長 油田弘佑

No. 9

### 超 我 の 奉 仕

### SERVICE Above Self

2005～2006年度 RI会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハママー

#### きょうの例会

第1103回 平成17年 9月20日(火)

講演 “「オリベ焼き 100選」画集の出来るまで”  
 織部研究家 久野 治様 (紹介 大口君)

#### 先週の記録

第1102回 平成17年 9月13日(火) 晴

◆“それでこそロータリー”

◆新入会員紹介



氏名 林 正路  
 生年月日 昭和36年1月3日  
 事業所 三光(株)  
 千種区千種3-39-27  
 TEL 732-3191 FAX 733-1808  
 地位 代表取締役  
 自宅 千種区振甫町1-21  
 職業分類 婦人服卸  
 委員会 親 睦  
 推薦者 佐久間 良治

◆出席報告

会員 61(57)名 出席 42名  
 出席率 73.68 %  
 前々回 8月30日(修正出席率) 87.92%

◆ビジター紹介 1名

#### 二村幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はそのままお残り下さい。

#### 魚津会長挨拶

お暑うございます。

ビジターに名古屋瑞穂RCより近藤雄亮様をお迎えしております。

又、本日入会頂きました林 正路君は故林 淳三様のご長男であります。皆様のサポートで立派なロータリアンとして成長されます事を期待しております。

最近各地で台風・大洪水等、自然災害が多く、援助等要請があると思いますが宜しく御協力の程お願い申し上げます。

今日は少し木曾桧の話をして頂きます。尾張の国の北に見えます霊峰御嶽山は当地方に色々な意味で影響を与えてくれます。名古屋市は木曾川の水道の取水口がありますが過去断水した事はありません。これは尾張藩の御威光でありまして水利権というものも今でも生きておるお蔭であります。この山のふもとに木曾桧の産地があり、約60KMの周囲が尾張藩の管理する現在の国有林で世界一の桧が出来る所であります。全山岩山であり永い年月を経て土壌が出来、夏、適当に暑く、冬は雪におおわれ、きれいな水、空気にめぐまれ夏の午後には全山霧におおわれて育った国有林の木曾桧は絶品であります。

この桧は伊勢神宮の式年遷宮の用材として使われております。桧、ツガ、杉、ネズ、サワラが一つの森を作り手入れも善くいずれも優秀であり尾張藩の管理は厳重を極め、桧一本首一本といわれ不心得な者が盗木を致しますとたちまち死罪という事になります。

又、皆様方には伊勢神宮の赤沢美林と呼ばれる御料林の中を散策するだけで気分が善くなります。

ぜひ一度行ってみられてはと思います。

#### クラブフォーラム

◆和田職業奉仕委員長

平成17年 8月26日に地区職業奉仕委員長会議が開催され、RI第2760地区2001-2004年度職業奉仕委員会委員長の関口宗男氏(名古屋南RC)が「ロータリーにおける職業奉仕について」講話されました。

関口氏は一人一人の職業を通じて初めてクラブ奉

仕、社会奉仕、国際奉仕が行える。基本的にロータリーの原点は職業奉仕であり、I Serve である。と話された。

ロータリーの創立1905年当初「みんなが仲良く楽しく一業1会員制」を原則とし「会員の親睦と職業上の互惠主義（相互扶助）を原則とする」と表現され理解されていたようです。しかし「君達は楽しいだろう。君達は豊かになっただろう。RCに入れない人はどうなるのか。職業を持たない人はどうなる。この地域に生をうけて地域社会で生活しながら恩になった地域社会に何ら足跡も残さない。これはまさにエゴイズムの団体だ」と批判も受けたようです。この意見を聞き入れ「社会活動の提唱（奉仕）」の考えが追加されました。ロータリアン個々の会員は「ロータリーの本質」についてたとえば「親睦派」「奉仕派」に分かれた時もあったようで、大いに研究し議論されたようです。

1911年二つの標語“Service Above self”[超私の奉仕]“He profits most who service best”[最もよく奉仕する者、最も多く報いられる]が提唱されました。

奉仕の実践とは抽象的観念的な道徳論ではなく、金銭的に手を差し伸べる事と確信した会員Melvin.Jonesが1917年に“I Serve”という理念のロータリーに対して明らかに違う道を示し“We serve”と呼ぶライオンズ・クラブを誕生させました。

1923年「決議23-24」「セント・ルイス宣言」。

ロータリーは基本的には人生の哲学でありそれは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕をしたいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕、「超私の奉仕」の哲学であり「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」という実践倫理の原点に基づくものと規定した。

ロータリーの合言葉に「原点に還れ」とよく聞きます。さて「原点」とはなにか？

ロータリーの初期の、親睦派と奉仕派の意見対立を考えると私個人的にはロータリーは親睦があって初めて奉仕が成り立つと考えています。

今回職業奉仕委員会に所属し、改めてロータリーの奥の深さを感じてまいりました。

#### 伊豫田社会奉仕委員長

今年度当委員会は継続行事に続き新たに盲導犬育成広報活動の為、財団法人中部盲導犬協会への寄附支援を行なっております。

2003年10月には「身体障害者補助犬法」が全面施行されました。盲導犬を含む補助犬の受入れが義務化され使用者の行動範囲の拡充が大いに期待されていますが受入れ側の情報不足により理解を十分に得られていない状況です。広報啓発といった活動が必要となります。すでに名古屋22RC社会奉仕委員会にて前年度迄の支援事業としてポスター募金箱が制作されてお

す。会員の事業所、又知り合いの方の事業所等にポスターを貼って頂きPR活動の役に立っていきたくと考えております。又、参加型として年度内に2回、11月と4月に募金広報活動をする事にしました。

年内は11月5日（土）三越星ヶ丘店様の1階ピロティにてクラブ内の募金でなく行動する事での奉仕活動に参加して頂きたいと考えております。

PR犬の涼々しさにきっと出会えます。

#### 小山環境保全委員長

地区協議会にて地区委員長より環境保全委員会として各クラブ単年度で1つ、継続事業として1つの活動をして頂く事が良いとお聞きしました。

身近な体験として平成3年に各会員にゴールドクレストをいただいた木が庭で大きく育ち、そこで、今年度の継続事業として植樹を身を持って考えていく事に致しました。

クラブアッセンブリーで植樹の話をして致した後、三好直前幹事より植樹の種類は「合歡の木」が良いのではと提案とその資料をいただきましたのでお話をさせていただきます。

「名前のイメージも心地良く、さわやかな印象があり、野山に自生しますが庭木としても多く植えられています。大きくなると概ね10m程度に成長し枝が大きく横に張り出し立派な姿です。他の木より涼しい木陰をたくさん作ってくれます。豆（まめ）科で開花時期は6/15頃～9/5頃、7月後半頃は花が途絶えるが8月になると再び咲き始める。日当たりのよいところに生える。夏の夕方に、かわった紅の化粧用の刷毛（はけ）に似ている花を咲かせる。オジギソウの葉は触るとシューッと閉じるがネムノキの葉は夜になるとゆっくり自分で閉じる。それがまるで眠るようなので「眠りの木」そしてしだいに「ねむの木」に変化していった。地方によっては七夕の日に「ネム流し」といって合歡の木の枝と大豆の葉を川の流りに流して邪気をはらう行事がある。地方によって色々な呼び名があるが、（ねんねの木、眠りの木、日暮らしの木……）眠りを意味するものがほとんど。」

初年度は20本～30本を場所は自宅、事業所等を考えて4月に実施したいと思っております。10年後には200本位になると思いますので千種区、昭和区を楽しんで歩いて眺められるよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

#### 町名変更のお知らせ

会員名 林 哲史  
新住所 〒464-0808  
名古屋市千種区星が丘山手405番地

ニコボックスは次回掲載致します。

次回例会

平成17年9月27日(火)

友愛の日